

第 41 回 日本放射線技術学会秋季学術大会 報告

「第 42 回北海道開催にむけての視察に参加して」

北海道社会保険病院 山口 隆義

「みなさん。来年の秋季大会は札幌ですよ!!」

と、いう事で、札幌開催に向けた視察団の一員として福岡に行って参りました。

まずは、開催前日の夕方に学会場へお邪魔して、実行委員の皆様にご挨拶をした後に、準備の様子を見させて頂きました。皆さん、分厚いマニュアルを片手に、受付の手順の確認や、各会場での進行内容の確認、アナウンスの練習などを行っていました。視察団としては、各会場のキャパや配置が気になる所でしたが、事前に全て確認する事ができました。我々は、その後、夕食へ向かいましたが、スタッフの皆様は、おそらく夜遅くまで準備に追われていたものと想像されます。(ご苦慮様です)

翌日は、8:00 に会場へ集合し、本格的な視察の開始となりました。私は、カメラ担当となり、緑の腕章を武器に、様々な会場の写真を撮りに廻りました。ですが、せっかく参加した学会なので、CTセッションには出来る限り足を運び、質問もいくつかさせて頂きました。興味深い演題も多くあり、春の総会に負けない内容であったと思います。北海道からも、多くの演題発表がありました。出来れば、北海道部会や北海道ヘリカル CT 研究会でもご発表頂けると嬉しいですね。

2日目は、各会場を巡って、CTセッションにも参加。ランチョンは、ちょっと浮気をして IMR を勉強しました。東芝さんにも Full IR の再構成をオンコンソールで実現して頂きたいですね。ちなみに、AIDR 3D が今年度の“超”モノづくり部品大賞(モノづくり日本会議/日刊工業新聞社 主催)において『ものづくり生命文明機構 理事長賞』を受賞されたそうです。おめでとうございます!! 午後は、特別講演「野球界のリーダー論～WBC の舞台裏～」を拝聴しました。演者は NHK の野球解説者である与田剛さんです。とてもお話し上手で、様々な監督の下で体験された指導方法の特徴を解りやすく解説されていました。学会終了後は、懇親会(情報交換会)に参加です。来年も多くの皆様が北海道に来て頂ける様に、知り合いを見つけてはアピールをして来ました。会は翌日を含め 3 日間なのですが、私はこれで視察団とはお別れをして、最終の新幹線で

神戸へ。実は、CCT(Complex Cardiovascular Therapeutics)2013 という冠動脈のカテーテル治療に関する国際学会と日程がマルかぶりだったのです。

という事で、3日目は神戸国際会議場にて午前中はアンギオセッションで、午後はCTセッションで演者を担当しました。共に東芝さんの装置の話です。貢献してるでしょ。CTセッションでは、高瀬クリニックの近藤武先生による基調講演もありました。近藤先生が ONE ユーザーとなってからは、特に one beat 撮影にこだわっており、自ら「one beat たけし」と名乗っていました。今回は、4社のフラッグシップCT装置における「ここが一押し」を各ユーザーに提示して頂きました。参加者からは、技術学会とは違った内容でとても勉強になったとの声も聞きました。循環器に興味ある皆様、CCT も楽しいですよ。参加をお待ちしています。

もう一度、「みなさん。来年の秋季大会は札幌ですよ!!」

皆で、札幌開催を盛り上げましょう。

Japanese Society of Radiological Technology
http://www.jsrt.or.jp

第42回日本放射線技術学会
秋季学術大会

Ambitious 2014
—make the next frontier,
make the new future—

特別講演 ノーベル化学賞 鈴木 章 北海道大学名誉教授

会 期 2014年10月9日(木)～11日(土)

会 場 札幌コンベンションセンター

大 会 長 小笠原 克彦 北海道大学大学院保健科学研究科

実行委員長 高島 弘幸 札幌医科大学附属病院

主 辦 公益社団法人 日本放射線技術学会 (JSRT)

共 辦 一般社団法人 日本ラジオロジー協会 (JRC)